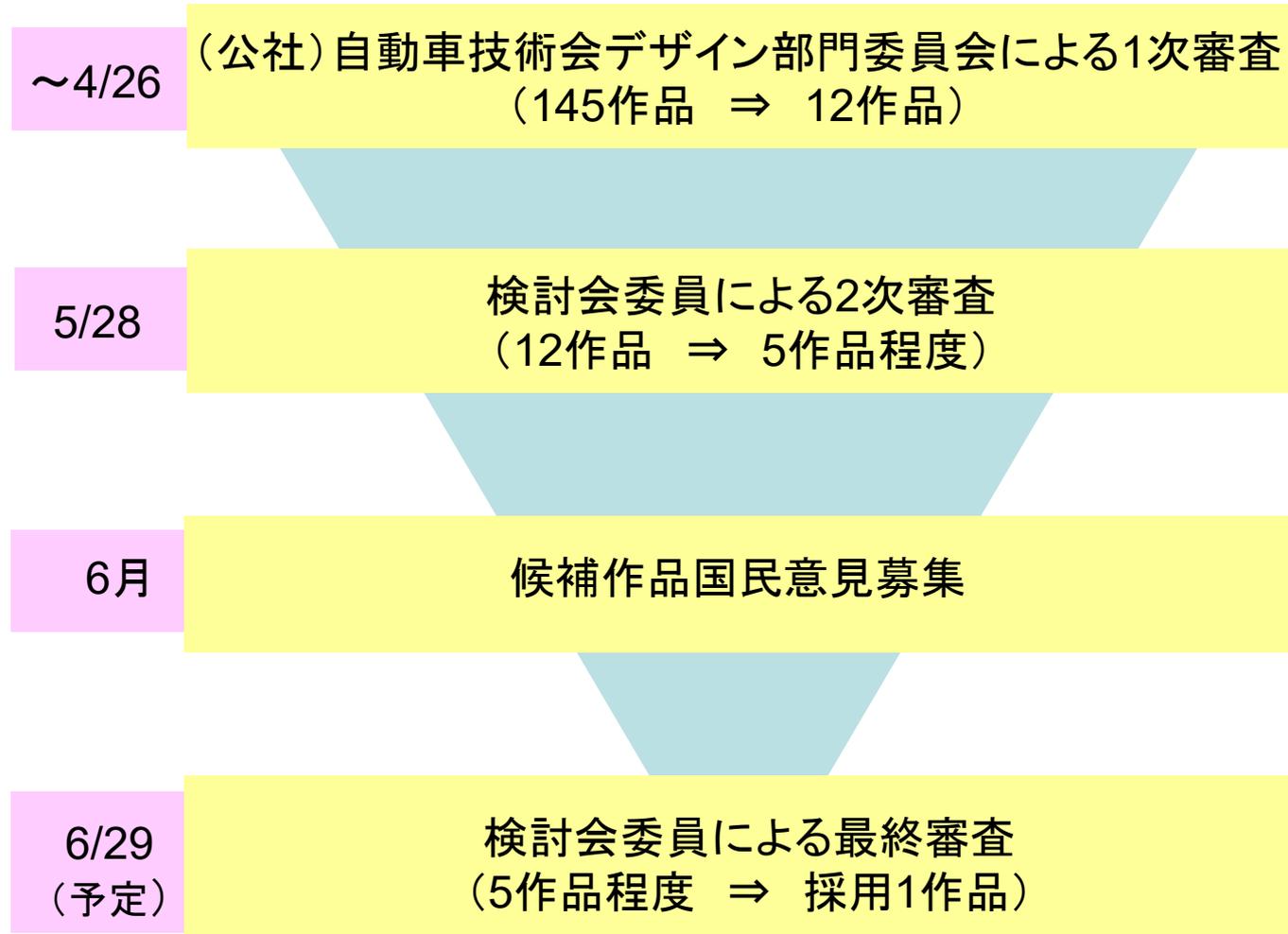


資料 1 - 2

新たな全国版図柄入りナンバーデザイン 案 1 次審査結果

1. デザイン案の審査の流れ

令和3年



2. デザイン案1次審査結果（概要）

- ・ 選考実施者
（公社）自動車技術会デザイン部門委員会

- ・ 1次審査通過作品
12作品 ※詳細は次ページ以降に記載

- ・ 1次審査選考基準
 - ①ナンバーが読みやすい
 - ②遠目に見て解りやすい、動いているときに解りやすい
 - ③オリジナリティが有る
 - ④メッセージ性が高い
 - ⑤エネルギーを感じる/ワクワクする
 - ⑥多くの人々から見て愛される
 - ⑦デザイン性（視認性・構成・配色）の完成度
 - ⑧特定の街だけを連想させない
 - ⑨季節限定感が強すぎない
 - ⑩どの種類の車にも似合う

No.1

タイトル : Nishiki



<コンセプト>

日本の美しさと、数々の伝統や文化を重んじる国ということが伝わるように、伝統和柄「麻の葉文様」と日本の国魚「錦鯉」をキーとし、デザインしました。元気よく跳ねる錦鯉は斜め上を見据え、逆境に臆することのない日本人の心を意識。鱗の形、海の波形は麻の葉文様で表現。麻柄は魔除けとしての意を保つため、お守りという意味も込めました。今後の日本を明るく照らす美しいデザインに仕上げました。

<訴求ポイント>

麻の葉文様や錦鯉が国魚であることをしっかりと噛み砕き、コンセプトでもある日本の伝統や文化を重んじる心を感じさせるようなデザインにまとめました。日本の街をNishikiナンバーをつけた自動車が走ることにより、国民には伝統文化の再認識をもらうだけでなく、「日本にはこんなに美しいものがあるんだ」と、海外の方の心も掴むデザインに仕上がっていると思います。

No. 2

タイトル：花、かける



<コンセプト>

コンセプトは『日本らしさ』です。明るい、華やか、日本らしさを取り入れたデザインにしたいと思い取り組みました。気持ちが晴れる、そして華やかさを持つものと考えた際に、花を取り入れたいと思いました。ただ固有の花だと季節感などがどうしても出てしまうなと思い、日本らしさと考えた時に、日本の古典的な柄は規則性を持って並んでいるものが多いと気づき、花と融合させ、今回のデザインが出来上がりました。

<訴求ポイント>

ナンバープレートということで、見やすさはもちろん、信号などで停車した際などにあのナンバープレート綺麗だね、と見てもらえるようなデザインを心がけました。色使いも淡めの色でありながら印象に残るような色を考え使いました。

No.3

タイトル：スマイル



<コンセプト>

日本を元気にするのはみんなの笑顔だと思って書きました。字や数字の間に入るように考えてペンでたくさん笑顔を書きました。このナンバープレートの車を見てみんなが笑顔になれるといいです。日本中が元気になるといいです。

<訴求ポイント>

息子は絵をかくのが好きでいつもいろんな絵を描いていますが、このナンバープレートの募集があることを知り所定の様式の紙を渡してその紙を敷いてその上から笑顔を描いていました。その原画をそのままフォトショップ経由でイラストレーターに入れて、原画のままデータ化しました。子供の自由なのびのびとした線はとても魅力があると思います。きっと多くの人を笑顔に、そして元気にしてくれると思います。（父）

No.4

タイトル：日本の御守り



<コンセプト>

コンセプトは「日本伝統の御守り」。日本伝統の美しい「和柄」を使用した。和柄には魔除けや縁起の良い意味を持つ柄などが多いため、それが安全運転の御守りがてらになればと、華やかなデザインで明るい気持ちや元気を与えられたらと思いこのデザインになりました。

<訴求ポイント>

小桜・桜散らし：日本の代表的な花。今の日本はコロナや地震があったりと桜で例えるなら花が散ってしまったと印象がある。しかし散った桜が必ずまた咲くように私たちの生活もいつか元通りになってほしいという願い。霞：絵巻などでは霞の動きが流れを暗示させることから時空の変化に使われる→今の日本の悪い流れを変える姿に。青海波：穏やかな波がどこまでも続いている→穏やかな日常が永遠に続いてほしいという願いを込めた。

No.5

タイトル：はなれていても「思い、みな一つに」



<コンセプト>

日本全国47都道府県の県花をモチーフに、日本の美しさを表現しました。植物は円環の象徴であり、枯れても再び綺麗な花を咲かせます。「日本を元気に」というコンセプトをもとに、それを植物の成長と捉えてデザインしました。また、全国すべての県花を用いることで、「日本全体で立ち上がろう」という思いを込めています。

<訴求ポイント>

国民に広く定着し、親しまれるよう、子供から大人まで広く愛されるようなデフォルメを効かせたデザインにしています。一つ一つの花（人々の思い）が集まることで大きな団結力を生むことを表現するとともに、右肩上がりに配置することで上昇、復興を表しています。色には、日本の伝統色をあしらいつつ、夢や希望を意味する虹に見えるよう配置を工夫しました。

No.6

タイトル：和柄2021



<コンセプト>

日本の和柄から発想を得た模様を散りばめたナンバープレートを考えました。和の模様の中に、日本人の美的センスや素敵なバランス感覚へのリスペクトを込めたのと、交通安全、五穀豊穡、家族の安寧など、様々な祈りや願いが込められています。

<訴求ポイント>

ナンバーそのものを邪魔することなく、でも見かけたときにちょっときになる、「おっ！和柄」と、ちょっと嬉しい気持ちになるような、そんなナンバープレートがあったらカッコ良いのでは無いか、と思いました。

No.7

タイトル：桜と日本



品川599
あ 20-46

<コンセプト>

日本の桜を中心として、周りに日本をイメージさせるような建物や文化をデザインし、賑やかな印象を持たせた。ナンバープレートを遠くから見ると、日本の国旗である日の丸に見えるようにし、近くでよく見ると、細かなイラストを見ることができるというデザインにした。

<訴求ポイント>

日本の人々は、コロナ禍の外出自粛中でもお花見に行くほど、桜が大好きな国だと思います。その桜色をベースに、これから自由に旅行などができる未来を届けたいという思いをデザインしました。

No.8

タイトル：日の鳥



<コンセプト>

様々な困難が発生しても、人と協力しながら負けずに立ち上がるという思いを込めて、日の丸を仰ぐ不死鳥を人の手で表現しました。

<訴求ポイント>

コロナ禍の今だからこそ、「人と人のつながり」に重点を置いてデザインしています。タイトルは日の丸と火の鳥を掛けています。日の丸の中には、目指す未来の象徴として、桜（精神美）、亀甲模様（長寿）、麻の葉（健康祈願）、青海波（平和祈願）のモチーフを取り入れています。

No.9

タイトル：色とりどりの日本



<コンセプト>

今、日本は簡単に旅行はもちろん隣の県でさえ遠出はできなくなり、酷い時は日用品を買いに行くことさえ恐怖な毎日でもあります。そんな日々を一年以上過ごしてきて、何も考えず予定や計画を立てて旅行に行けたこと、会社帰りに友達と買い物やカフェなど寄り道していたこと、当たり前だと思っていたことがそうじゃなくなった非日常の中でせめてデザインの中で、いつかいろんなところに遊びに行ける未来を描きたいと思いました。

<訴求ポイント>

自分自身が今行きたいなあと思っている観光名所を北から南まで描いてみました。四季折々で色鮮やかな名所が日本列島にまつまっているデザインです。見た人がまたいずれ改めて観光したいと思えるイメージがコンセプトです。

No.10

タイトル：さくらさくら



<コンセプト>

古来より日本人に親しまれている「桜」をモチーフに、伝統文様である七宝繋ぎを取り入れてデザインしました。七宝繋ぎを桜の花びらの形で表現し、桃色や紺などの伝統色を用いた配色をすることで、日本の華やかな美を表現しました。

<訴求ポイント>

桜は昔から様々な和歌や着物の柄などに登場し、日本人に長く愛されてきた花で、桜を使った文様には「豊かさ」などの意味があります。また、七宝繋ぎには、円が連鎖し繋がっていく様子から、「円満」や「繁栄」などの願いが込められているそうです。冬を経て一斉に咲き誇る桜と、人と人とのつながりの円満を願う七宝繋ぎを組み合わせることで「今こそ助け合いこの難局を乗り越えよう」という気持ちを表現しました。

No.11

タイトル：桜



<コンセプト>

コンセプトは、「桜満開」。「立ち上がれ！美しい日本」というテーマから富士山や桜がこの国を代表する最も美しいものだと考えた。富士山はその時期、季節により顔を変えるが通年姿を見ることが出来る。しかし、桜は3~4月とほんのわずかの期間しか見ることができない。そこで、ナンバープレートに桜のデザインをすることで、いつでもその美しい桜を身近に感じるもらうことができる。

<訴求ポイント>

ナンバープレートには、4つの大小異なる桜をデザインした。位置は異なるが、これは抽象的に日本列島の北海道・本州・四国・九州をイメージした。また、桜のみのシンプルなデザインにすることで一目で桜の花びらと分かってもらうと同時に数字類の視認性も高めた。

No.12

タイトル：新・富嶽三十六景 - 神奈川冲浪裏 -



<コンセプト>

日本の美しい景観を、日本が誇る名画をオマージュしたこの作品と共に彩って欲しいとの想いで制作しました。また、今後海外からの観光客や人材のさらなる増加を踏まえたうえでも、国際的に知名度の高い富嶽三十六景をモチーフとする事で、ナンバープレートを目にした方々に、日本ならではのオリジナリティと美しさを感じ取って頂きたいとの思いを込めました。

<訴求ポイント>

日本の誇る名画である富嶽三十六景 神奈川冲浪裏をモチーフとしつつ、現代的な抽象アレンジを加えることで、老若男女問わない視覚的な親しみやすさと、自動車や二輪車等の工業デザインとの親和性を高めたデザインとしました。